「感染症科で診療/コンサルテーションを行った梅毒症例の解析（特に治療の適正化について）」についてのご説明

患者さまへ

千鳥橋病院/千代診療所を受診し、診療の時に取得し保存されている以下の情報を使用します。

１）受診期間：令和５年４月から令和５年９月の間

２）受診科：感染症科受診、感染症科入院、感染症科へのコンサルテーション依頼症例

３）対象疾患名：梅毒（急性期や潜伏期の梅毒だけでなく、陳旧性梅毒と判断されたものも含みます）

４）使用する情報：診療情報、臨床画像（個人を特定する情報は含みません）　等

１．この研究がめざしているもの

当院感染症科で経験した 2023 年度の梅毒症例を症例集積研究としてまとめます。近年では、COVID-19 パンデミックもあり、ペニシリン筋注製剤が上市され、そして梅毒症例の急増がありました。梅毒の国内疫学にもかなりの変化があったと考えられます。特に治療薬が増えたことや国内のガイドラインも策定・改定されたことからも、より患者さんの病態やライフスタイルにマッチした治療を選択することが可能になりました。これらを症例集積研究としてまとめることは、今後も増え続けると想定される梅毒症例の治療を考慮する上で重要なものになると考えられます。

２この研究の方法（スケジュール）

2023 年 10 月の倫理委員会で承認された後、感染症科症例リストより上記対象症例を抽出します。その後診療を行った症例や他の診療科から相談を受けた症例についての年次推移や疫学を解析し、特に当科で主に診療やフォローを担った症例についてはさらに多くの症例特性（年齢、性別、基礎疾患、リスク因子、治療内容、フォローの推移など）についてもまとめます。特に治療内容のテーラーメード化が必要だった患者さんについては簡潔に治療を選択した施行過程などを加えます。学会発表や研究会での発表、論文での発表を予定しています。その中でも特に特殊な病態の患者さんについては別個に症例報告として学会発表、論文での発表を予定しています。

３．あなたの利益と危険性

特にありません。

４．この研究への参加は自由です。

研究へ協力できない場合は下記にまでご連絡ください。

５．同意はいつでも撤回できます。

撤回受付は研究成果の公表前まで、となります。ご了承ください。

６.プライバシーの保護

名前、イニシャル、住所、正確な入院/外来受診の日付について記載はしません。出身国は解析項目の一つです。皮疹の写真や放射線検査などの臨床画像を使用する可能性がありますが、個人を特定できるものは使用しません。

７.患者さんに守って頂きたい事項

特にありません

８.利益相反

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

９.緊急時の連絡先

研究担当者：八板　謙一郎　千鳥橋病院　感染症科　電話：092-641-2761